

# 人文学報

---

No.513-10

## 表象文化論

アンフォルム 「不定形」のヴィジョン——黒坂圭太『陽気な風景たち』(2015)について .....	赤塚 若樹	1
宮城道雄が出会っていた著名人.....	岡崎 一	29
<i>Jude the Obscure</i> as an Object Lesson: "Bad Marriage Drives out Good" .....	亀澤 美由紀	83
頭蓋骨のなかのシニフィアン——トンプソン「両耳聴現象について」をめぐる(1) .....	福田 貴成	103
ニュー・アカデミズムとバタイユ受容の行方 .....	古永 真一	115
アンドロイドは平田オリザの夢を見るか2 ——平田オリザとアンドロイド演劇—— .....	三宅 昭良	131

首都大学東京人文科学研究科

2017 年 3 月

## 2016 年度 表象文化論教室彙報

### 学事日程

#### 2016 年

- 4月5日(火) 表象文化論分野ガイダンス
- 6月30日(木) 卒業論文中間報告会、修士論文中間報告会
- 7月17日(日) 大学入試説明会、大学院入試説明会
- 8月21日(日) 大学入試説明会
- 9月26日(月) 大学院入試(博士課程前期)
- 10月6日(木) 卒業論文ガイダンス(3年生対象)
- 10月27日(木) 第1回所属決定ガイダンス(1年生対象)
- 11月10日(木) 第2回所属決定ガイダンス(1年生対象)

#### 2017 年

- 1月10日(火) 修士論文提出
- 1月11日(水) 卒業論文、卒業研究・制作 提出
- 2月2日(木) 卒業論文、卒業研究・制作 口述試験、修士論文 口述試験
- 2月16日(木) 大学院入試(博士課程前期)
- 2月17日(金) 大学院入試(博士課程後期)
- 3月20日(月) 卒業式・学位授与式

### 学生研究活動

#### 【卒業論文】

- 江原幸希 「細田守の映像表現——日常と非日常の共存から生まれるリアリティ」
- 遠藤陽介 「現代野球漫画における男らしさ」
- 岡崎稔 「デカルトの「われ思う、ゆえにわれあり」の否定を試みる」
- 小川茜 「ヨーロッパ圏ミュージカルにおける各国作品の特色——音楽からみる」
- 河野善太 「井上雄彦の「試み」——描き出される人間存在」
- 北川咲絵 「新たな知覚体験をもたらすミュージック・ビデオ」
- 倉根雄大 「世界観——漫画と映画を繋ぐ空白の言葉」

- 奥石麻彩美 「H・G・ウェルズの『タイムマシン』から考える「タイムマシンを用いた時間移動」の表象分析」
- 嶋崎優莉恵 「両性具有譚としてのオーランドー ——両性具有という理想」
- 鈴木千晴 「「美女と野獣」——如何にして我々は野獣を求めるのか」
- 鈴木晴佳 「《るろうに剣心》論——「不殺の誓い」を読み解く」
- 高橋愛佳 「刀はヒトの夢を見るか——擬人化が繋ぐモノとキャラクターの表象」
- 豊田圭美 「バンクシーを読み解く——動物・社会・壁・イデオロギー」
- 長坂愛 「ロアルド・ダールにおけるブラック・ユーモア論」
- 中村哲弥 「ザ・ビートルズにおける『サージェント・ペパーズ・ロンリー・ハーツ・クラブ・バンド』——彼らは何故架空のバンドを組んだのか」
- 日高真之助 「ファッションにおけるミニマリズム——ジル・サンダーの魅力」
- 松村麻美 「ヴィクトリア朝の女性ファッションの変遷——他者の存在と自己表現」
- 三方弘之 「赤塚不二夫作品から考える、表現の自由と差別表現の変遷」
- 武藤加奈 「宝塚の男役に関する考察」
- 柳沼大地 「北野武は何故映画を撮るのか——監督作品と「タケちゃんマン」の関係性」

### 【修士論文】

- 薄田直人 「大江健三郎論——生まれ替わりと想像力の観点からみる大江健三郎の小説の方法」
- 川野真樹子 「身体と映像の共演——映像を用いた演劇における、生身の俳優と映像の関係の在り方について」
- 福田浩之 「近代俳句史において俳句を「書く」という言い回しはいかにして創作行為そのものを表すようになったか」

### 教員研究活動

赤塚若樹

〔著書（共著）〕

『東欧の想像力——現代東欧文学ガイド』、奥彩子・西成彦・沼野充義編、松籟社、2016年1月（担当箇所：「ミラン・クンデラ」）。

〔論文〕「芸術家の「状況」——「正常化」時代のチェコスロヴァキアにおけるジャズ・セクションの活動について（3）」、『人文学報』第512-10号、2016年3月。

「アレクサンドル・ハッケンシュミートをめぐる覚え書き——マヤ・デレンとのコラボレーションとアメリカでのさまざまな出逢い」、『れにくさ』第6号、東京大学文学部現代文芸論研究室、2016年3月。

「21世紀のシュルレアリスト、ヤン・シュヴァンクマイエル」、『ユリイカ』第48巻第10号（2016年8月臨時増刊号／総特集「ダダ・シュルレアリスムの21世紀」）。

[展覧会評]

「クールな顔美の調べ」（「クエイ兄弟 ファントム・ミュージアム」展レビュー）、『美術手帖』1044号、2016年11月。

[その他]

Lumen Cinematheque Vol. 008「黒坂圭太 全仕事」（Lumen gallery, galleryMain [京都]、2016年12月13-18日）のチラシとカタログへのコメント。

岡崎一

[論文]

「宮城道雄が出会っていた著名人」『人文学報』第513-10号（2017年3月）。

亀澤美由紀

[論文]

"Symbolic Economy of Words, Money and Bodies: E.K.Sedgwick and Beyond" 『人文学報』第512号（2016年3月）。

高岸冬詩

[論文]

「Till/Until の詩学」『メトロポリタン——特集：土岐恒二の仕事』 第Ⅱ期第2号（通巻58号）（Kindle版）、メトロポリタン編集局、2016年8月。

中嶋泉

[著書（共著）]

『ニューヨーク 錯乱する都市の夢と現実』、田中正之編、竹林舎、2016年12月（担当：「ニューヨークと草間彌生—1959年と1989年の批評から見る—」）。

[論文]

「ニキ・ド・サンファルを日本で観ること」、『国立新美術館研究紀要』第3号、2016

年11月。

福田貴成

〔論文〕

「修羅の音を聴く——『シン・ゴジラ』におけるモノとステレオ」『ユリイカ』第48巻第17号（2016年12月臨時増刊号／総特集『『シン・ゴジラ』とはなにか』）。

〔報告文〕

「企画パネル デヴィッド・ボウイの宇宙を探索する」『表象文化論学会ニューズレター〈REPRE〉』28号（2016年10月）。

古永真一

〔論文〕

「ヴォランスキとフランスの風刺文化」、『人文学報』第512-10号（2016年3月）。

〔書評・エッセイ・その他学術成果物〕

『ルーヴル美術館特別展 LOUVRE No.9 漫画、9番目の芸術』、ルーヴル No.9 大実行委員会、2016年7月（担当箇所：「第9芸術としてのバンド・デシネ」「バンド・デシネ史」）。

「BDって何?」、『芸術新潮』7月号（2016年7月）。

「書評 タルディ『塹壕の戦争』」、『図書新聞』3287号（2017年1月）。

三宅昭良

〔論文〕

「シェイクスピアを引用するモダニストたち——パウンド、ジョイス、エリオットの場合」、『T. S. Eliot Review』No.27. 2016年11月。

「アンドロイドは平田オリザの夢を見るか2——平田オリザとアンドロイド演劇」、『人文学報』513-10号（2017年3月）。

〔書評〕

「A. David Moody, *Ezra Pound: Poet—A Portrait of the Man and his Work II: The Epic Years 1921-1939* (Oxford UP, 2014) & *Ezra Pound: Poet—A Portrait of the Man and his Work III: The Tragic Years 1939-1972* (Oxford UP, 2015)」、『Ezra Pound Review』19号 2017年3月。

[劇評]

「我もまた父親殺しの共犯者なり——OM-2 の『9/NINE』を観て」、artissue 第 8 号  
2017 年 1 月。

[学会発表]

「モダニズムの間のヴォーティシズム」、日本エズラパウンド協会、第 38 回大会シンポジウム「Blast102 周年——Blast を起点として」、早稲田大学、2016 年 10 月 29 日。

高本教之

[翻訳書]

アフマド・マンスール『アラー世代——イスラム過激派から若者たちを取り戻すために』  
(高本教之、犬飼彩乃、由比俊行、早川文人、平井敏雄、荻原耕平)、晶文社、2016  
年 11 月。

平成29年3月10日印刷  
平成29年3月16日発行©

「人文学報」 第513-10号

非売品

東京都八王子市南大沢1丁目1番地

編集・発行者

首都大学東京人文科学研究科  
人文学報編集委員会

代表者 岡 部 卓

株式会社インフォテック  
東京都多摩市落合2-6-1

*Jimbun Gakuho* No.513-10

Not for Sale

Published

March 16, 2017 ©

by

Editorial Board of *Jimbun Gakuho*

(Chief Editor Taku Okabe)

Tokyo Metropolitan University

Minami-Osawa1-1

Hachioji City

Tokyo, Japan

---

Printed by

infotec Co., Ltd.

Ochiai 2-6-1 Tama City Tokyo, Japan

石油系溶剤を含まないインキを使用しています。  
再生紙を使用しています。



古紙配合率 70%  
白色度 70%再生紙を使用しています。

THE JOURNAL  
OF  
SOCIAL SCIENCES AND HUMANITIES  
(JIMBUN GAKUHO)

---

No.513-10

Studies of Culture and Representation

An Essay on Keita Kurosaka's <i>Wealth of Vision</i> (2015) .....	Wakagi Akatsuka	1
The Famous People Michio Miyagi Met .....	Hajime Okazaki	29
<i>Jude the Obscure</i> as an Object Lesson: "Bad Marriage Drives out Good" .....	Miyuki Kamezawa	83
A Signifier in a Skull : on Sylvanus P. Thompson's "Phenomena of Binaural Audition" (1) .....	Takanari Fukuta	103
Relationship between Georges Bataille and the Interdisciplinary Movement Called 'New Academism' .....	Shinichi Furunaga	115
Do Androids Dream of HIRATA Oriza? Part II: HIRATA Oriza and Android Theater .....	Akiyoshi Miyake	131

The Graduate School of Humanities  
Tokyo Metropolitan University

March 2017